



# 〇〇利益はどこへ消えたのか？

「利益は出ているというけれど、お金が増えてないよ」とよく質問を受けます。  
 利益はどこへ消えたのか？その答えは前期末と今期末の残高を比較した貸借対照表で  
 知ることができます。

例) A社は当期500万円の利益を計上しました。(下図表1参照)  
 貸借対照表の繰越利益が500万円増加しましたが、現預金は増加していません。  
 これは、利益の増加分に見合う資金が他の何かに使われてしまったことを意味  
 します。

## 増減を確認しましょう

### 資産の部

- ・ 売掛金 200万円増加 (回収するまでは資金は増加しません。)
- ・ 在庫 200万円増加 (在庫を売上げるまでは資金になりません。)
- ・ 固定資産 200万円減少 (減価償却計上による 資金流出を伴わない。  
 資金を200万円増加させることと同じ効果があります。)

資産の増加合計 200万円

### 負債・資本の部

- ・ 借入金 300万円減少 (借入金の返済は経費にならず、利益は減りませんが預金は減少します。)
- ・ 繰越利益 500万円増加

負債・資本の増加合計 200万円

## 利益(資金)はどう使われたのか？

比較貸借対照表から見たことは、A社の当期利益500万円は、借入金の返済  
 (300万円)と売掛金の増加(200万円)と在庫の増加(200万円)に使われ、  
 減価償却費の計上(200万円)を加味しても現金預金残高を増加させる事が出来な  
 かったという事が見て取れます。

図表1 A社の当期利益500万円はどこへ消えたのか？

